

「出会いは人を変え、人生を変える」

# 校長だより

「我が子を入れたくなる学校をつくりたい」(初代校長)

平成30年10月24日(水)

第16号

那覇西高等学校長 長濱 雅仁

「いつも太陽の光に顔を向けていれば、影を見ることはありません」 - ヘレンケラー -

”Once we share goals, we are all brothers and sisters!”

夢の実現とは、日々の地味な努力の積み重ねによってもたらされるものに他ならない。(稲盛和夫)

## ◎◇学校行事、大会結果、イベント等

### ・高校新人大会 (バドミントンは宮古大会でした。)

柔道：男子3-2 首里 3-0 与勝 準決勝0-5 沖尚 3位決定戦2-2 興南 (代表戦で勝利)

：女子準決勝3-0 豊見城南 決勝0-3 沖尚 (準優勝)

男子バスケット部：1回戦64-57 嘉手納 2回戦27-118 興南

女子バスケット部：1回戦78-59 2回戦76-37 興南 3回戦39-126 西原

男子バドミントン部：1回戦3-2 首里東 2回戦3-1 普天間 準々決勝1-3 那覇

個人の部：富里陽登・山内優希組ペア8進出！優勝した沖水組に0-2で惜敗！

女子バドミントン部：2回戦3-2 開邦 3回戦1-3 那覇

### ・平成30年度高校選手権

男子サッカー部：4回戦2-0 普天間 準々決勝は宜野湾高校 於西原陸上競技場 10:00

## ●校内外の小さな変化・成果に皆さん、気がつきましたか？

- ・毎朝、金城自治会前公園内外を清掃してくれる男子サッカー部ですが、今回伊禮ありさ先生のご尽力により、平成30年度那覇市善行少年及び青少年育成功労者に選ばれ、来月表彰を受けることになりました。水泳部、陸上部、整備・清掃に汗を流してくれる女子バド、野球部の皆さんにも感謝！
- ・平成30年度おきなわ国際協力人材育成事業那覇西高校出前講座が11月6日(火)6校時に1年8組(14:40)において行われます。発展途上国における国際協力の現状の報告が主な内容です。グローバルな人材の育成は本県の施策でもあり、本校国際人文科の設置目的でもあります。
- ・九州体育科学・研究大会が10月18日から2日間、熊本県で開催されました。「服装は心の鏡、あいさつは心の扉、清掃は心の泉(ガッス)」の横断幕が目にとまりました。

学校説明会校長挨拶 (10 / 17)

全県からお越しの中学校の生徒の皆さん、引率の先生方、保護者の皆様こんにちは。私は本校第15代校長の長濱雅仁です。本校は昭和62年に開校し、今年で32年目となります。国際人文科は全国で初めて、体育科は県内で初めて設置された学科です。昨年は優秀図書館実践校として県内小中高で唯一文部科学大臣賞をいただきました。図書の本出し冊数はH27年6,000冊→H28年13,000冊→H29年16,000冊で県内でもトップクラスです。展示コーナーも毎月リニューアルされていますので、ぜひ足を運んでください。他にも授業、部活動、学校行事等を通して各々の「心のふるさとづくり」に取り組んでおり、躍動感あふれる学校です。2年前の30周年記念式典に全日本バドミントンチの上野広治氏(現日本大学監督)をお呼びしました。1996年のアトランタ五輪で惨敗(5位が最高成績)した日本水泳界を再興させたリーダーです。氏は「水泳は個人競技だが団体で世界と戦う」の理念の下、基本的な生活習慣・マナー・礼儀・規律等を徹底し、競泳を世界トップクラスに導いた立役者です。本校もまさに「チーム那覇西」で文武両道に取り組んでいます。清掃状況も「師弟同行・率先垂範」の精神で全校生徒・教職員で取り組んでいます。

青少年の健全育成の原点は「・・・自らを鍛えることは、規則正しい生活を送ることであり、自分を知り、より困難なものへ挑戦し、より自分を磨くことではないか。」といわれています。まさにそのとおりだと思います。終わりに、伊良波中学校で退職された比知屋綾子(元小禄中同僚)先生が数年前、高校入試の願書を届けに高校に来校した時、「中学校で鍛え育んだ素晴らしい生徒達が今回受験するので、ぜひ高校で磨き上げてくださいね」と仰った言葉が今でも忘れられません。私たち高校には皆さんの「魂を磨く使命と責任」があると考えています。ぜひ那覇西高校を受験してください。

指導者の心に火が灯らなければ、選手の心に火は灯らない。(能代工高バスケット元監督 加藤廣志氏)